

活動レポート

北方海域技術研究会

『平成20年度 第2回定例会』と 『平成21年度 定期総会・特別講演会』の開催

1. はじめに

北方海域技術研究会では、2009年(平成21年)2月13日に平成20年度 第2回定例会、同年4月20日に平成21年度 定期総会・特別講演会を開催しましたので、報告致します。

2. 『平成20年度 第2回定例会』

第2回定例会は、札幌市北区の北ビルA会議室で開催しました。参加者は40名でした。なお、講演者及び講演内容は、以下のとおりです。

はじめに、平成20年度の北方海域技術研究会の活動報告として、2008年(平成20年)10月9日～10日に実施された第1回定例会(現地視察会)報告が豊谷幹事よりなされました。

続いて、『水産加工副産物の有効利用～機能性食品素材の開発と応用～』と題して、焼津水産化学工業株式会社機能食品営業部部長 又平芳春氏(写真-1)にご講演いただきました。



写真-1 講演される又平氏

カニ・エビの殻を有効利用して製造・販売している健康補助食品である「N-アセチルグルコサミン」をサンプルとして配布され、軟骨修復促進作用、変形性関節症改善作用、肌質改善効果などの様々な機能が報告されていることを説明していただきました。

次に、北海道開発局港湾空港部空港課 課長 桑島隆一氏(写真-2)より「最近の空港事情とその計画・整備について～新千歳空港の拡充・交流推進ほか～」と題してご講演いただきました。

新千歳空港における国際旅客ターミナル整備、貨物施設の機能強化、その他雪氷を空港ターミナルビルの冷房に利用する事業など大変興味深いものでした。



写真-2 講演される桑島氏

3. 平成21年度総会・特別講演会

平成21年度総会と特別講演会は、北区の札幌エルプラザの3階大ホールで行いました。

総会では、幹事長より(1)平成20年度に実施した事業内容および決算について、(2)平成21年度の事業計画、予算計画について、(3)役員の改選が報告され、原案どおり全て承認されました。

続いての特別講演会では、59名の参加者を前に、4人の方にご講演いただきました。以下に講演者と講演内容を記します。

はじめに、愛媛大学客員教授 菅野勇紀氏(写真-3)に「水産物を中心とした生産物の流通及びその支援手法に関する高度情報化」と題してご講演いただきました。なぜ水産物流通に情報技術が積極的に活用されないのかと問題を提起し、現状を把握した上で仮説を立て、実証実験によって明らかにする流



写真-3 講演される菅野氏

れで判り易くご説明していただきました。

次に、愛媛大学 客員教授 若林隆司氏 (写真-4) より「情報科学と水産基盤整備」と題してご講演いただきました。(1)農林水産省のユビキタス食の安全・安心システム開発に関して、(2)漁港施設の衛生管理 (安全・安心) 情報の伝達、(3)漁港施設における防災・防犯の視点から、(4)IT によるトレーサビリティと水産基盤整備の4つの項目で海外事例のビデオなども含めて判り易くご説明いただきました。さらに、国民への安全・安心な水産物供給と国際競争力強化に向けた総合協力 (協働連携) 体制の必要性についてご講演いただきました。



写真-4 講演される若林氏

また、公立はこだて未来大学システム情報科学部 教授 長野章氏 (写真-5) に「これからの発展方向と課題」と題してご講演いただきました。水産物の生産、流通加工へのIT導入の課題を、トレーサビリティへのアクセスをキーワードとして、大黒さんま、昆布オーナー制、カキの風評被害など、具体的な事例により判り易くご説明いただきました。

最後に、北海道工業大学工学部社会基盤工学科



写真-5 講演される長野氏

教授 笠原篤氏 (写真-6) 「アセットマネジメントは舗装から始まった」と題してご講演いただきました。マネジメントシステムが最初に構築された対象が舗装であり、土木構造物の中で最も寿命の短いことがその理由であったこと、また、アメリカにおいてアセットマネジメントが発生したことは、ライフサイクルを見届けられる費用と便益、パフォーマンスの把握が可能なおことが理由であったことなどをご説明いただきました。さらに、最新情報として日本では、現在ようやく発注者が、「対処療法」から「予防保全」へと動き始めていることも含めて非常に判り易くご講演いただきました。



写真-6 講演される笠原氏

4. おわりに

以上、実施した平成20年度の第2回定例会、平成21年度の定期総会・特別講演会の報告を致しました。今回、役員改選による新たな役員により今後2年間北方海域技術研究会を運営していくこととなりました。この場をお借りして、これからも変わらぬご協力を宜しくお願い申し上げます。

(文責：北方海域技術研究会幹事 藤井 淳夫)